



【今日のテーマ聖句】

「だから、神の力強い御手の下で自分を低くしなさい。そうすれば、かの時には高めていただけます。」(ペトロ 1・5:6)

2019年1月14日(月)

G先生はアメリカのワシントン州東部、丘が続く地方に位置する小さな寮の学校で尊敬されている先生でした。この学校では読み方、書き方、職業訓練の原則ばかりではなく、クリスチャンの生き方の実践の原則も教えていました。聖書研究の授け方、聖書研究ガイドを用いて家の教会を導く方法、説教の仕方、地域のための奉仕活動などです。G先生はこの学校ではとても重要な役割を果たしていました。

G先生は11年生のクラスで『キリストへの道』の中から教え、とても実践的な方法で生徒たちに福音の明快さを教えていました。彼は生徒たちに、どのようにイエス様と共に歩み、イエス様のもとに留まるか、という原則をつかんでもらいたいと考えていました。彼は生徒たちの心にキリストと共に一日をスタートする重要性を強調しました。

「毎朝、神に自己をささげ、これを最初の務めとして、次のように祈りましょう。『主よ、僕を完全にあなたのもととしてお受けいれください。私のすべての計画をあなたのみ前に置きます。どうか、僕を今日もあなたの働きのために用いてください。どうか私とともにいて、すべてのことをあなたにあってなさせてください』と。」(『キリストへの道』98、99ページ)

G先生は聖書のクラスだけではなく、9年生の大工のクラスも教えていました。クラスは2つに分かれており、最初は本から学び、次に実践でその学びを適用しました。ある日のクラスで、G先生は3人の生徒が支える中で壁を建てていました。他の3人は木材の上で遊んでいました。G先生は木材が崩れて、怪我をするからその木材の上から降りてくださいと頼みました。それでも生徒たちが遊び続けているので、そばに行き話そうとすると、大きな木材が彼の足に落ちてきました。彼はあまりの痛みに、足をつかみながらいたがって飛び跳ねました。生徒たちにはそれが滑稽に見え、指をさして笑いました。G先生はそれに腹を立ててしまい、彼の口からはきつい言葉が飛び出しました。ちょうどイスラエルの子らに対して怒ったモーセのように、生徒たちに対して怒りを発してしまったのです。

近くのオフィスに走り込み、G先生は神様に叫びました。「主よ、怒ってしまいました。もう彼らに教えられません！」イエスの優しい憐れみと思いが彼の心を静かに慰め、悔い改めをもたらしました。

「本当に良心的で、神のために生きたいと望んでいる人々にさえ、悪魔は、自己の欠点や弱さのことばかり考えさえ、そうしてキリストから離し、ついには勝利を得ようと願っています。……神を信じて平安でいましょう。神は、こうして自分を託す者を必ず守ってくださいます。もし神のみ手に自己を任せるならば、あなたを愛される神は、あなたを勝利者にしてくださるのです。」(『キリストへの道』101、102ページ)

祈りながら、ある考えが浮かびました。

「ここに一日中いるわけにはいかない。生徒たちに自分の行動でイエス様を間違えて表してしまいました」

彼は謙虚になり、オフィスの前に立って自分たちを責めている生徒たちに「今日わたしは、イエス様を表しませんでした。ごめんなさい」と謝りました。生徒たちは「大丈夫ですよ。だれでもしてしまう普通のことです！」と答えました。

次の時間のクラスは聖書でした。彼は生徒たちに『キリストへの道』の5章「献身」を宿題としてあたえており、なにが心に残ったのかを書いてくるように言っていました。彼が教室に入ったときには内心、教えられる心境ではありませんでした。生徒たちも自分たちの席に座りました。1人の女子生徒がその宿題をG先生の机の上に置きました。その宿題に書かれていた一つの文章が彼の注意をひきました。

「自分に望みがあるのではなく、キリストに望みがあるからです。」

(『キリストへの道』99ページ)

彼はまさに、この文章を必要としていました。

何年もたった後、彼は一人の生徒から手紙を受け取りました。「わたしは先生があの日、ご自身が大工のクラスで取った行動を後悔されていることを知っています。しかし、先生が謙虚になり、わたしたちを正そうとして、わたしたち

に謝ったことは、現在、父親となったわたしに大きく影響しています。わたしも失敗したときに子どもたちに何度も謝り、赦しを願うことがあります。あなたの模範がわたしをより良い父親としてくれています」

「私たちは何度となく、欠点やあやまちを悔い

てイエスの足もとに泣き伏すことでしょう。けれども、そのために失望してはなりません。たとえ敵に敗れても、神に捨てられ、拒まれたものではありません。キリストは神の右に座し、私たちのために執り成しておられます。」

(『キリストへの道』90、91 ページ)

祈りの時間の進め方の提案

※集会の時間に合わせて項目を減らしても構いません

【賛美の祈り】

- 主よ、あなたを賛美します。あなたはわたしたちのために弁護をしてくださる、イエス・キリストです。
- 主よ、あなたを賛美します。あなたはわたしたちの敗北を勝利に変えてくださいます。
- 主よ、あなたを賛美します。わたしたちが失敗をしても、わたしたちは見捨てられることはありません。

【告白の祈り】

主よ、わたしたちの生活の中で、和らげ、精錬するあなたの霊を必要とする部分を示してください。他者との関係の中で忍耐できなかったこと、怒りや軽率な言葉を発したことをお赦しください。他者を傷つけたときに、謝ることのできるあなたの力をあたえてください。

【嘆願と執り成しの祈り】

- イライラするときあなたの平安の霊をあたえてください。
- 8,208校のアドベンチストの学校と200万人の学生たちのために祈ります。これらの学校がいつも聖書の真理を教え、これらの若い人々を宣教と奉仕に導いてください。
- 主よ、宗教に関心のない世俗の文化に届く知恵をあたえてください。聖霊の神様が世俗の心を打ち砕いてくださいますように。
- まだ福音の届いていないアジアの人々、イスラム教の人々、仏教の人々、ヒンズー教の人々のために祈ります。イエス様の名前も聞いたことのない人々です。彼らの必要に応える知恵をあたえてください。
- 霊を拝む方々、偶像を拝む方々、アニミズムの信仰の方々と交わるとき、わたしたちを祝福してください。彼らの世界観を理解でき、個人的な救い主を紹介できますように。
- 全世界のアドベンチストの方々に、かつてなかったほどにインスピレーションをあたえてください。共に聖霊の後の雨を求めさせてください。ヨエル2章、ホセア6章、使徒言行録2章の約束が成就しますように。
- 南アフリカインド洋支部の18か国に存在する541の民族のために祈ります。聖書の真理へと導いてください。
- 避難民の実際的で霊的な必要に応える方法を示してください。わたしたちの教会が人々への愛で知られる教会となりますように。その方々がだれであろうと、どこの国の出身者であろうともです。
- 黙示録14章の三天使の使命を忠実に伝えられますように。すべての教えがキリストの愛と義に基づくものとなりますように。
- わたしたちは祈りのリストにある7名の方々のために祈ります（必要ならば一人ひとりの名前を挙げて）。

【感謝の祈り】

- 主よ、感謝します。あなたはわたしたちを、おちいることのないようにしてください（ユダ 24）。
- 感謝します。悔い改め、赦し、そして和解についてです。
- キリストが残された、奉仕の模範に感謝します。その模範に従える力をあたえてください。

【日本の伝道のための祈り】

- 昨年、日本における全員参加伝道でまかれた真理の種のために。
- 日本のために働き、そして祈る、働き手を送ってくださいますように。

【推奨する讃美歌】

希望の讃美歌 305 番「主にすぎるわれに」

希望の讃美歌 356 番「救い主にまします」

日基讃美歌 521 番「イエスよこころにやどりて」

【神様の約束】

- 「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。」（ヨハネ 1・1：9）
- 「わたしの子たちよ、これらのことを書くのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。たとえ罪を犯しても、御父のもとに弁護者、正しい方、イエス・キリストがおられます。」（ヨハネ 1・2：1）